

CASBEE[®]広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤和上幟町マンション	階数	地上15F
建設地	広島県広島市中区上幟町7番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	90人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	24時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年10月 予定	評価の実施日	2010年4月1日
敷地面積	335 m ²	作成者	(有)Jib建築設計工舎 多森 治義
建築面積	229 m ²	確認日	
延床面積	2,371 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 2.3	スコア = 3.3
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能等級3と自主基準で床以外の壁・天井に熱橋補強を実施。/ 全ての住戸を角住戸とし採光・通風を十分に確保できる計画とする。/ 設備システムの高効率化を計る為、エコキュートを採用した。/ 極力節水用の給水器具を採用する。/ 可能な限りCO ₂ の排出を削減する。	設計の計画上特段に配慮した事項 オール電化とすることで燃焼機器をなくし、大気汚染物質を排出しない。又、極力敷地内の緑化に努める。/ 狭小敷地内出来る限りの駐車・駐輪スペースを設ける。又、車入庫時の渋滞緩和の為のスペースを設ける。	設計の計画上特段に配慮した事項 コンクリート躯体の劣化については住宅性能上での等級3を確保する。又、内装材は耐久性・維持管理性に留意しメンテナンスが容易な材料を使用する。/ 躯体に影響を及ぼさない範囲で設備のメンテナンス、更新が可能なレベルを確保する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される